

# 札幌市生涯歯科口腔保健推進計画 「さっぽろ8020推進プラン」(案) に対する ご意見の概要と札幌市の考え方

「札幌市生涯歯科口腔保健推進計画 さっぽろ8020推進プラン」(案) について、パブリックコメント手続きにより、市民の皆様からのご意見を募集し、いただいたご意見を参考とさせていただきました。

お寄せいただいたご意見は、趣旨が変わらない程度に要約し、趣旨が同じご意見はまとめて掲載しています。なお、計画案と直接関係がないご意見（他事業へのご意見等）については、公表しておりません。

平成29年（2017年）2月  
札幌市保健所

〒060-0042

札幌市中央区大通西19丁目 WEST19 3階

電話 011-622-5151 FAX 011-622-7221

<http://www.city.sapporo.jp/eisei/kenkozukuri/shikakeikaku/index1.html>

市政等資料番号  
01-F06-16-2194

## 1 意見募集実施の概要

### (1) 意見募集期間

平成 28 年 12 月 26 日(月)～平成 29 年 1 月 24 日(火)

### (2) 意見提出方法

郵送、F A X、Eメール、ホームページ上の意見募集フォーム、持参

### (3) 資料の配布・閲覧場所

- ・ 札幌市役所本庁舎 2 階行政情報課
- ・ 札幌市保健所健康企画課
- ・ 各区役所(総務企画課広聴係)
- ・ 各区保健センター
- ・ 各まちづくりセンター
- ・ 札幌市内各小中学校【子どもの意見募集用小冊子】
- ・ 札幌市内児童会館【子どもの意見募集用小冊子】
- ・ 札幌市内市立高等学校
- ・ 札幌市ホームページ

## 2 パブリックコメントの内訳

### (1) 意見提出者数・意見件数

16 人・56 件

### (2) 年代・提出方法別内訳

	総数	持参	HP	郵送	Eメール	F A X
10 歳代					1	
20 歳代						
30 歳代						
40 歳代						
50 歳代	5					5
60 歳代	7			1	3	3
70 歳代	1					1
不 明	2				1	1
合 計	16			1	5	10

(3) 意見内訳

分 類	件数	構成比
第1章 計画の策定にあたって	6	10.7%
第2章 計画の体系	2	3.6%
第3章 施策の具体的取組	29	51.8%
第4章 推進体制	3	5.4%
その他の意見	16	28.6%
合 計	56	100%

※構成比の算出は四捨五入しているため、合計値とその内訳の累計値とは一致しない場合があります

3 キッズコメント（子どもの意見）の内訳

(1) 意見提出者数・件数

58人・66件

(2) 年代・提出方法内訳

	総数	持参	HP	郵送	Eメール	FAX
小学生	55			27	27	1
中学生	3				3	
合 計	58			27	30	1

(3) 意見内訳

分 類	件数	構成比
第1章 計画の策定にあたって	10	15.2%
第2章 計画の体系	6	9.1%
第3章 施策の具体的取組	19	28.8%
第4章 推進体制	0	0%
その他の意見	31	47.0%
合 計	66	100%

※構成比の算出は四捨五入しているため、合計値とその内訳の累計値とは一致しない場合があります

#### 4 パブリックコメントの概要とそれに対する札幌市の考え方

※「意見の概要」欄のページ数は、計画案本書におけるページ数を表しています。

##### 第1章 計画の策定にあたって

意見の概要	市の考え方
<p><b>【計画全体】</b> 札幌市の計画策定に関する提言の「入れ歯などで～」ということについても考慮した計画策定となることを望む。 健康を維持するのは本人であるが、市民の『義務』先行し過ぎる計画は、より健康格差を広げてしまうことになるのではないかと懸念する。</p> <p style="text-align: right;">類似意見 2 件</p>	<p>本計画は、歯科口腔保健対策の推進を図り、市民一人ひとりの健康づくりを支え、歯と口の健康をさらに増進することを目的としております。社会全体として歯と口の健康づくりに取り組みやすい環境の整備に努めてまいります。</p>
<p><b>【計画全体】</b> 全体的に、歯科医にかかる事を勧めているように感じられました。医療費がかさむ事から、自治体としてやるべきことが違うのではないのでしょうか。</p>	<p>歯と口の健康を維持するためには歯磨きなどのセルフケアとともに歯科医院での定期的な歯科健診などのプロフェッショナルケアが必要です。本計画では、かかりつけ歯科医の普及と歯科疾患予防の普及啓発に取り組んでまいります。</p>
<p><b>【計画全体】</b> 指標の目標値が低すぎ。2年後と実施4年の2段階で目標値を設定すべき。</p>	<p>国、「健康さっぽろ21（第二次）」の考え方に基づき目標値を設定しております。また、中間評価を平成31年度に予定しております。</p>
<p><b>【3頁】</b> 計画期間を平成29年から平成32年までの4年間と変更すること。</p>	<p>本計画は「健康さっぽろ21（第二次）」（平成26年度～平成35年度）の実施計画として策定していることから、計画期間の終期を平成35年度としております。</p>

##### 第2章 計画の体系

意見の概要	市の考え方
<p><b>【4頁】</b> 「歯と口の健康」を「歯と口の衛生、あるいは歯と口の衛生を確保する上で重要な社会環境や生活環境によって実現される健康」に修正。 「市民の健康という市民にとっての利益</p>	<p>本計画は、全ての札幌市民を対象とした歯科口腔保健対策の推進を目的として策定していることから、本文の修正、追記は行わないことといたします。 また、社会全体で歯と口の健康づくりを支</p>

<p>のみを唯一の目的とする」を追記。 「口腔疾患患者、障がい者、高齢者、妊産婦、乳幼児、絶対的貧困層などの歯の欠損を起しやすい市民階層を重点的に、具体的な口腔衛生を実現するための措置を講じる」を明記。</p>	<p>える環境を整備するために、基本施策「歯と口の健康づくりを推進するための環境を整備します」を設定したところです。</p>
<p>【4頁】 かかりつけ歯科医をもつ人を「かかりつけ歯科医をもつ人、およびかかりつけ歯科医をもつ介護関係機関」に修正。</p>	<p>本計画では、市民がかかりつけ歯科医をもつことを普及啓発していくこととしており、介護関係機関が、かかりつけ歯科医をもつこととはしておりませんので、本文の修正は行わないことといたします。</p>

### 第3章 施策の具体的取組

意見の概要	市の考え方
<p>【6頁】 「市民の多くは」を「市民および介護福祉機関の多くは」に修正。 取組の方向性で、「～幅広い啓発」のあとに「を行うとともに介護福祉機関に対して利用者に対する口腔ケアの取組をこれまで以上に強化し、介護福祉機関としてかかりつけ歯科医をもちかかりつけ歯科医の指導や検診を積極的に受けるよう要請する」を追加。介護機関としてのかかりつけ歯科医の利用率も目標値をあげるべき。</p>	<p>本計画は、すべての年代について歯と口の健康づくりを進めるために策定しており、関係するさまざまな機関等との連携をすすめてまいります。 また、市民がかかりつけ歯科医を持つことを普及啓発していくこととしており、介護関係機関が、かかりつけ歯科医を持つこととはしておりませんので、本文の修正は行わないことといたします。</p>
<p>【6頁】 定期的を2～3ヶ月に1回とか、1年1回と具体的に書いてほしい。</p>	<p>定期的な歯科健診は1年に1回以上歯科健診を受診することとしております。かかりつけ歯科医を持っていただくよう、今後普及啓発を進めていきますが、定期的な歯科健診の必要性についてもあわせて広めてまいります。</p>
<p>【7頁】 4歳以上18歳未満の学童世代の取組が空白世代である。かかりつけ歯科医利用率を設定すべき。また目標を持つべき。</p>	<p>本計画では乳幼児期・学童期の歯科口腔保健対策を重点施策の一つと設定しており、この年代の歯科口腔保健対策をさらに推進することとしております。</p>
<p>【9頁】 義務教育の段階で虫歯・歯周病への知識(嫌悪感)を持たせることが重要だと思う。</p>	<p>いただいたご意見は、具体的取組を行っていくうえでの参考とさせていただきます。</p>

<p>【9頁】 虫歯のない児童を表彰する。(プレゼントをあげる 歯ブラシなど)</p>	<p>いただいたご意見は、具体的取組を行っていくうえでの参考とさせていただきます。</p>
<p>【9頁】 「区によるむし歯のない3歳児の割合の違い」については、早急に状況把握と分析が必要である。</p>	<p>本計画では、平成35年度までにむし歯のない3歳児の割合を90%とすることを目標としておりますので、ご意見のように区ごとの状況を分析し必要な取組を進めてまいります。</p>
<p>【10頁】 フッ素による健康被害や歯への影響も指摘され、近年はアレルギーや化学物質過敏症の方も増えております。虫歯予防として用い続けることに疑問を感じます。疑わしきは継続しない、が鉄則ではないでしょうか。 人体に影響を与えるフッ化物については、保護者等に対しリスクや副作用を十分説明することを明記して下さい。乳幼児期、学齢期での集団フッ化物洗口は、行うべきではありません。リスクを充分説明したうえで選択するよう保護者や子どもに伝えて下さい。 類似意見11件</p>	<p>フッ化物によるむし歯予防につきましては、安全性と予防効果が、国やWHO（世界保健機構）などにより確認されております。 本計画では、むし歯を防ぐ手段の一つとしてフッ化物の利用を推進することとしておりますが、歯磨きや食生活など生活習慣を整えることも重要ですので、これらの情報を適切に発信してまいります。</p>
<p>【10頁】 「就学前や学童期に歯科医院での検診を受けることができるクーポン等を配布する」新規事業を提案する。</p>	<p>いただいたご意見は、具体的取組を行っていくうえでの参考とさせていただきます。</p>
<p>【12頁】 現在保健センターで妊産婦歯科検診が行われているが、保健センターでなく、かかりつけ歯科医でもできるようにしてほしい。</p>	<p>妊娠期に歯科健診を受けやすい環境整備に努めてまいります。</p>
<p>【12頁】 喫煙者は歯周病で歯を失う人が多くいます。受動喫煙でも同様のリスクがあり、このことの広報により力を入れ、施策と啓発を進めていただくことを期待します。</p>	<p>歯周病と喫煙の関係性について啓発に努めてまいります。</p>
<p>【12頁】 歯周病以外に、口内炎や舌がん、食道がんなども喫煙・受動喫煙と因果関係が多々あります。これらも強調し、施策・啓発が重要です。</p>	<p>札幌市では、平成24年度から口腔がん予防啓発事業に取り組んでおりますが、今後もこの取組を進めてまいります。</p>

<p>【12頁】 40歳、50歳、60歳、70歳で歯周病検診受診券を配布しているが、60歳定年であれば55歳とか59歳のときの方がいいのではないか。</p>	<p>歯周病検診は、国の健康増進法に定める健康増進事業として実施しており、検診の対象となる年齢は国の基準に準じて実施しております。</p>
<p>【15頁】 口の運動、舌の運動、かむ回数などもう少し具体的に普及啓発の内容を書くと分かりやすいと思います。</p>	<p>いただいたご意見は、具体的取組を行っていくうえでの参考とさせていただきます。</p>
<p>【15頁】 「誤嚥性肺炎などの病気にかかりやすい」を「誤嚥性肺炎などの病気にかかり、場合によっては死亡することがあるので」に修正。</p>	<p>飲み込む機能の低下により、栄養失調や誤嚥性肺炎などの病気にかかりやすいことを記したものであることから、本文の修正は行わないことといたします。</p>
<p>【18頁】 さっぽろ8020推進員養成と市民ボランティアについて具体的に教えてほしい。 類似意見2件</p>	<p>既に取り組んでいる自治体を参考としながら取組の内容を今後検討してまいります。</p>

#### 第4章 推進体制

意見の概要	市の考え方
<p>【19頁】 市民の健康のため、歯科医師会および歯科業界を中心とする医療福祉関係者に対し、計画実現のための自発的協力、及び条例を根拠とした法的強制力に基づく協力義務により、計画の参加と協力を求める」を明記。</p>	<p>本計画を推進するために、市民、関係機関、行政がそれぞれの役割を持ち、連携して取り組むことが必要ですが、このような取組を強制するものではないため、本文の修正は行わないことといたします。</p>
<p>【19頁】 「市民、地域、企業、関係機関、行政」の表現を「市民、地域、介護サービス、歯科医師会、その他の企業・関係機関、行政」に変更。</p>	<p>関係機関には、歯科医師会、介護関係機関も含むため、本文の修正は行わないことといたします。</p>
<p>【19頁】 「平成31年度に中間評価を行い必要に応じて計画の見直しを行います」を「平成30年度に中間評価を行い、その後2年に1度の評価において、指標達成率の進捗などを精査し、必要に応じて計画の見直しを行い、市議会と市民に公表します」に修正。</p>	<p>本計画は、札幌市の審議会である「さっぽろ市健康づくり推進協議会」において進捗管理をすることとしております。また、協議会の結果につきましては、適宜、市ホームページ等で公表いたします。</p>

その他の意見

16件

5 キッズコメント（子どもの意見）の主な意見の概要とそれに対する札幌市の考え方

第1章 計画の策定にあたって

意見の概要	市の考え方
<p><b>【計画全体】</b> 札幌の状態をみんなに知らせる。</p> <p>歯周病などのある人が全国と比べて少し多いというのは、初めて知っておどろいた。 類似意見 1 件</p> <p>1 2 さいでむし歯のない人の数が札幌市は全国平均より低いからもっと歯をみがく。 類似意見 6 件</p>	<p>札幌市民の状況については、市ホームページや事業等をとおして、今後も情報の発信をすすめてまいります。</p>

第2章 計画の体系

意見の概要	市の考え方
<p><b>【2 頁】</b> 8 0 2 0 運動はちょっと覚えづらいと思います。</p> <p>8 0 2 0 運動について家族で取組んでいきたい。</p> <p>自分も歯科健診の回数が中学生になってから減っているの、忙しい中でも大切なことなのでなるべく行こうと思いました。 類似意見 3 件</p>	<p>8 0 2 0 運動の意味も含め計画の内容について、広く市民に情報を提供してまいります。</p>

第3章 施策の具体的取組

意見の概要	市の考え方
<p><b>【6 頁】</b> 学校や職場で歯科健診サービスがあるとよい。</p> <p>気軽に歯医者に通えるように公共施設にポスターを貼って歯科健診を受診するよう呼びかける。</p> <p>パンフレットだけでなくチラシにのせる</p>	<p>歯と口の健康を保つために、セルフケアとかかりつけ歯科医をもち定期的に歯科健診や口腔ケア受けることの重要性について幅広く情報発信し、普及啓発に努めてまいります。</p>



<p>とものと伝わる。</p> <p>かかりつけ歯科医をもって、定期的に歯科健診を受けることの大切さがわかった。 類似意見 1 件</p>	
<p><b>【 8 頁】</b></p> <p>むし歯や歯肉炎のいない子どもを増やすには、一人一人がしっかり歯みがきをしないと達成できない目標だと思う。</p> <p>小学生は給食があるから食べ終わった後、うがいをして、そして晩、きれいに磨くことをしたらむし歯もふせげると思いました。 類似意見 1 件</p> <p>歯をみがくのを増やした方がいいと思った。あと、食べ物もたくさん食べて歯をじょうぶにするといいと思った。 類似意見 4 件</p> <p>歯みがきをするのが効果的だと思ったけど定期的に行った方がいいことが分かった。</p> <p>きちんと歯をみがいたり自分で出来ることは、やった方がいいという事がわかった。</p>	<p>年齢に応じた効果的な歯みがきの方法とむし歯や歯周病の予防のための生活習慣の形成について今後も取組みます。</p>
<p><b>【 1 1 頁】</b></p> <p>「1日2回以上歯みがきをしましょう」などのポスターを作ったり、歯と口の健康づくりについて教えたらよい。 類似意見 1 件</p> <p>区役所に来た人に出入り口でパンフレットを渡すのはどうか。</p>	<p>むし歯や歯周病の予防について、様々な場を捉え正しい知識を広めていきます。</p>
<p><b>【 1 4 頁】</b></p> <p>高齢の方が歯が丈夫であれば、たくさん</p>	<p>高齢になっても自分の歯を保ち、食べる力が維持できるように口腔ケアや定期的な歯科健</p>

<p>食べることができ健康につながるからいいと思う。</p>	<p>診の必要性について広めていきます。</p>
--------------------------------	--------------------------

その他の意見

31件

## 6 計画素案から変更

該当するホームページが削除されたため修正いたしました。

修正前	修正後
<p><b>【6頁】</b>            かかりつけ歯科医とは、「ライフサイクルに沿って、歯と口に関する保健・医療・福祉を提供し、地域に密着した幾つかの必要な役割を果たすことができる歯科医」と定義されていますが4)、            4) 公益社団法人日本歯科医師会  <a href="https://www.jda.or.jp/go/dental.html">https://www.jda.or.jp/go/dental.html</a></p>	<p>身近な地域での歯科治療や相談等の提供、訪問歯科診療の提供、高次歯科医療機関との連携などが、かかりつけ歯科医の具体的な役割として挙げられています。4)             4) 北海道医療計画 [改訂版]            (平成20～29年度)</p>